



神戸町第6次総合計画

Future plan of the Godo town

令和 7年度・16年度

神

岐阜県神戸町

神戸町第6次総合計画【概要版】

編集・発行：神戸町役場 総務部 まちづくり戦略課
〒503-2392 岐阜県安八郡神戸町大字神戸 1111
TEL0584-27-3111 FAX0584-27-8224

<https://www.town.godo.gifu.jp/>

発行年月：令和7年3月



計画策定の背景と目的

本町では、まちの将来像を示し、総合的かつ計画的な町政の運営を図る「総合計画」を最上位計画に位置付けて策定し、国や県の動向も注視しながら、それぞれの時代や社会の潮流に合った形で施策・事業を推進しています。平成29年3月に「神戸町第5次総合計画」(基本計画については令和3年3月に改訂／以下「前計画」という。)を策定するとともに、様々な施策・事業に取り組んできました。このたび、前計画の取組状況等を精査し、持続可能なまちを住民と共に築くことができるよう、「神戸町第6次総合計画」(以下「本計画」という。)を策定しました。住民が住み続けたいと思える地域社会を実現できるよう、施策・事業を力強く推進していくこととします。

計画の位置付け

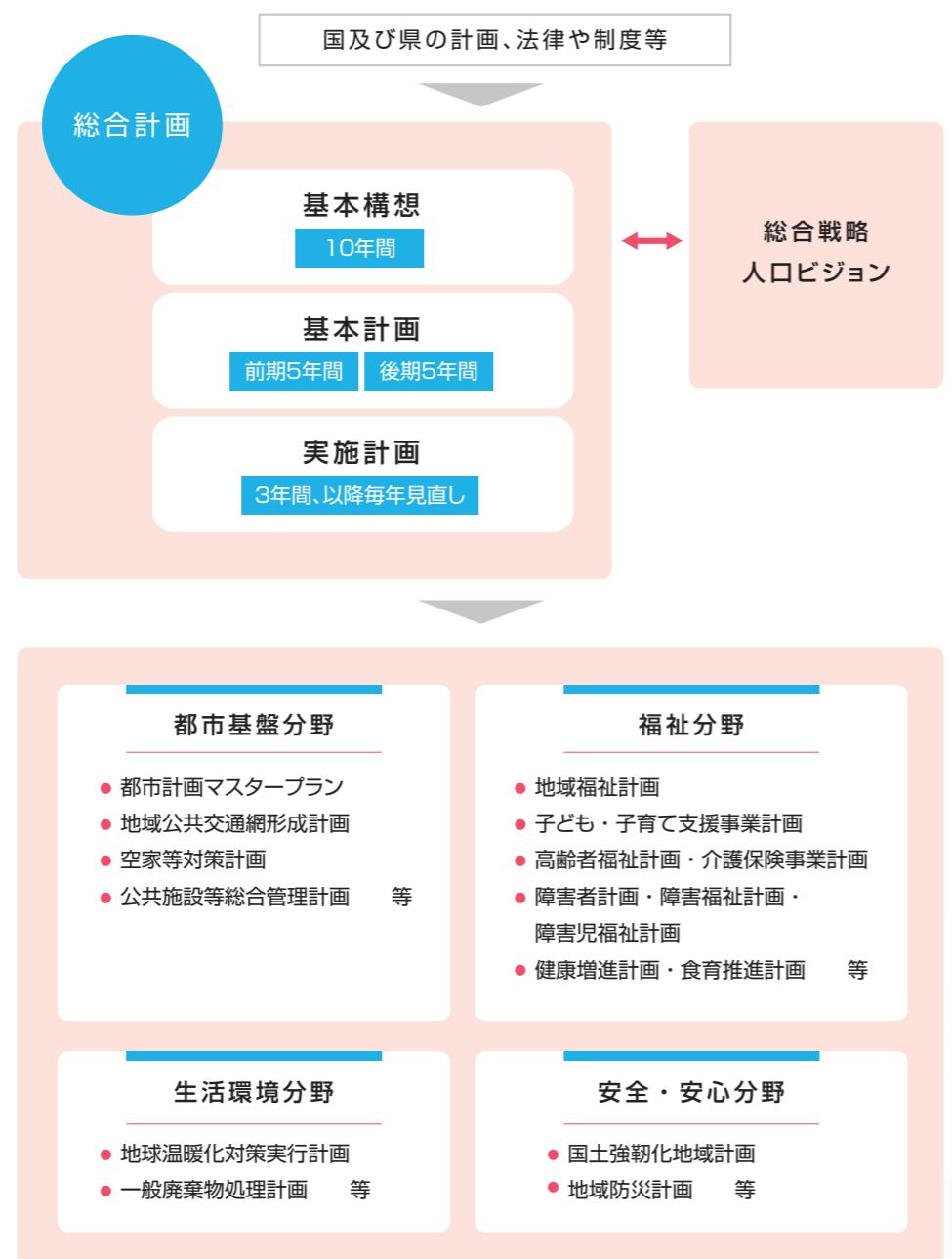
本町では、地方版総合戦略・人口ビジョンとの整合を図りつつ、本計画を最上位計画と位置付けています。そのうえで、総合計画の基本構想を具体化するものとして、福祉関連計画や都市計画マスタープラン、地域防災計画、公共施設等総合管理計画等の個別計画を策定しています。策定背景や関係法令との関連、計画期間、対象等は様々ですが、各個別計画は本計画を補完・具体化するものであり、相互に緊密な連携を図るものとします。

計画の構成と期間

本計画は、「基本構想」・「基本計画」・「実施計画」の三層構造で構成します。

「基本構想」と「基本計画」は、令和7年度から令和16年度までの10年間を計画期間とします。なお、「基本計画」については、中間年(令和11年度)で見直しを行ふこととします。

「実施計画」は、令和7年度から令和9年度までの3年間を当初作成しますが、それ以降は毎年度ローリング方式により見直しを行うこととします。

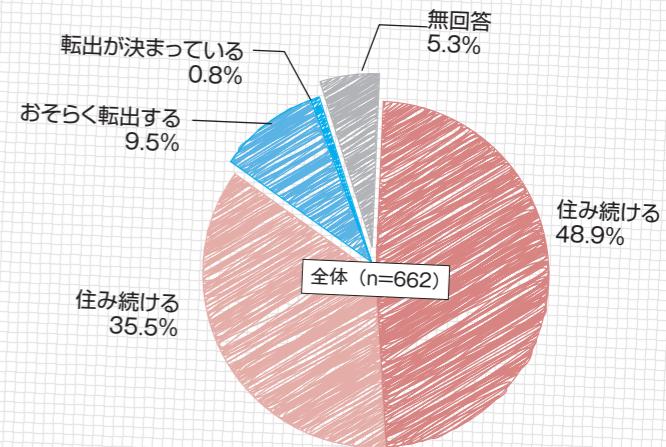


まちづくりに関する住民意識

住民意識調査より

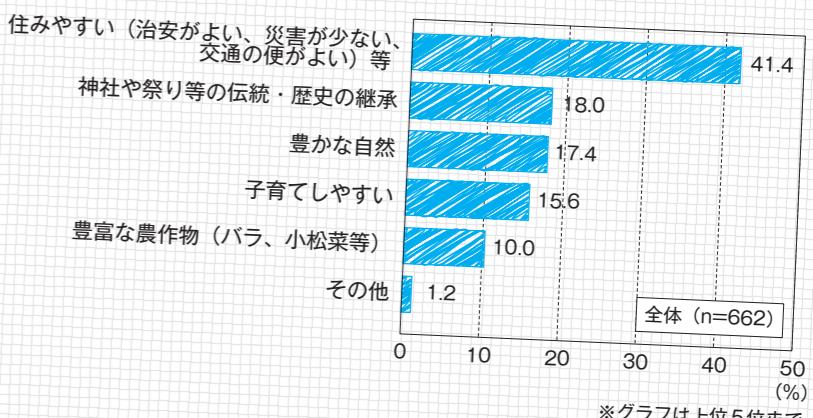
住民の定住意向について

「住み続ける」が48.9%と最も高く、次いで、「おそらく住み続ける」(35.5%)、「おそらく転出する」(9.5%)の順となっています。また、「住み続ける」と「おそらく住み続ける」を合わせた「住み続ける」は84.4%となっています。



神戸町が自慢できるところ

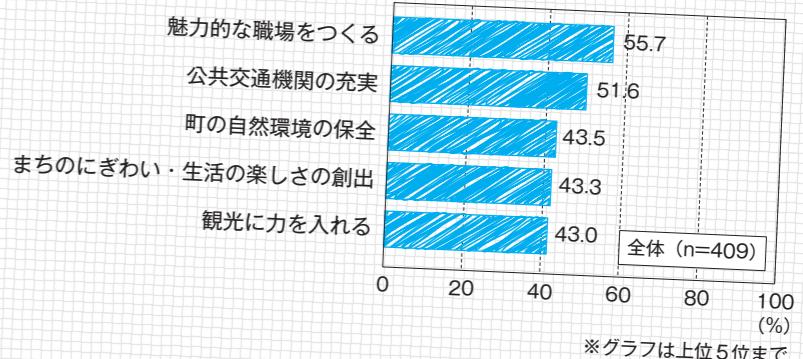
「住みやすい(治安がよい、災害が少ない、交通の便がよい等)」が41.4%と最も高く、次いで、「神社や祭り等の伝統・歴史の継承」(18.0%)、「豊かな自然」(17.4%)の順となっています。



中学生アンケートより

町の未来のために 良くしてほしいこと

「魅力的な職場をつくる」が55.7%と最も高く、次いで「公共交通機関の充実」(51.6%)、「町の自然環境の保全」(43.5%)となっています。



住民ワークショップより

10年後にのぞむまちの姿について

- みんなで見守り合い人と人がつながり、人々が集い作用し合うまち
- 高齢者・外国人労働者・障がい等の多様性と異文化を受け入れるまち
- 街灯・カーブミラー等の整備による防犯体制が整備された明るいまち
- 子育て施策・高齢者施策・障がい者施策等、福祉と医療の充実したまち

本計画が目指す「まちの将来像」

みんなの笑顔 未来へつなごう ともに支えあうまち ごうど

まちの将来像に込めた想い

今住んでいる人、これから住む人、町民一人ひとりが幸福感を実感し、

みんなで協力しながら、思わず“笑顔”になるような、

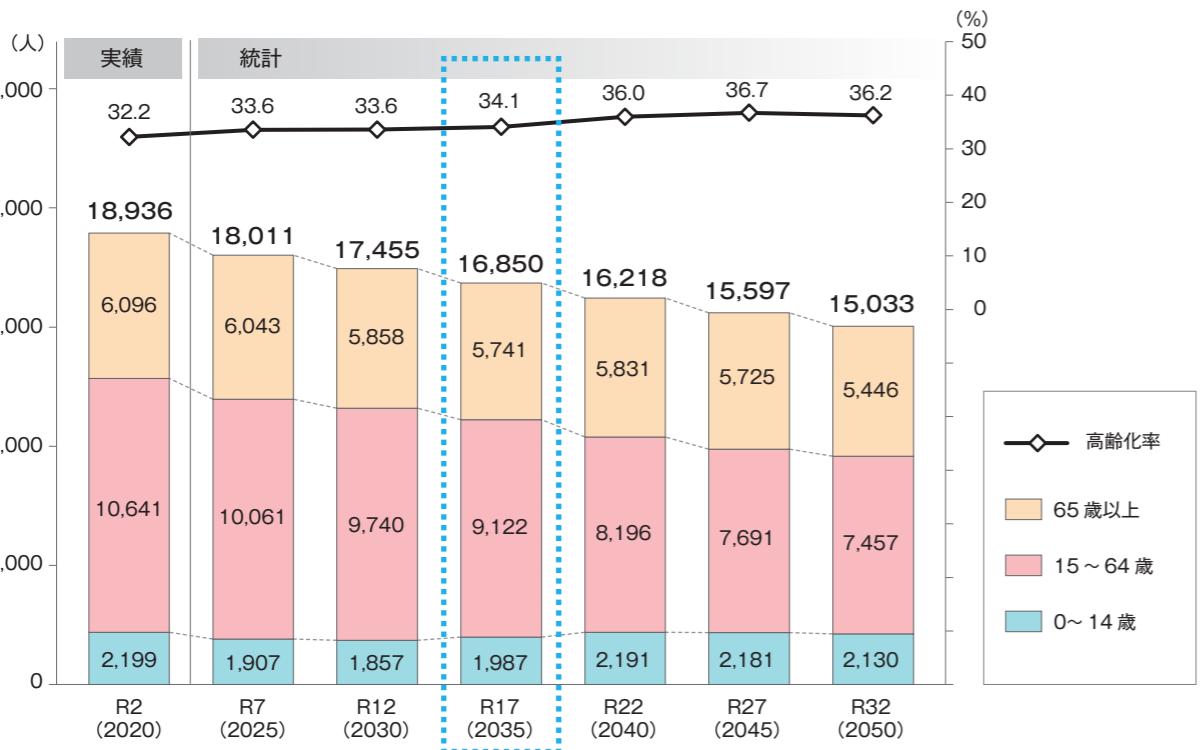
神戸町の未来を一緒になって創っていこう!

そして、人とのつながりを感じ、互いに助け合える人間関係を構築し、ともに支えあう、
そんなまちを次世代にもつなげていきたい。

本計画における目標人口

まちの将来像の実現に向けて各種施策を推進することにより、出生数の増加による合計特殊出生率の上昇と、転出抑制・転入促進の効果が生まれることを見込んで町の将来人口シミュレーションを実施した結果を基に、次のとおり目標人口を設定します。

総人口 16,800 人程度
(令和16年時点)



本計画の期間は令和16年までのため、人口ビジョンで示す将来展望の令和17年の総人口を参考として、本計画の目標人口を設定しています。

土地利用構想

土地は、住民生活や都市活動を支える重要な基盤であり、長期的・総合的な展望の下で、時代に対応した効率的・計画的な活用を図ることが重要です。本町では、東海環状自動車道 大野神戸ICの供用開始や都市計画道路の整備により、住宅需要の高まりや企業誘致の可能性も広がっています。

土地利用の形成方針

住宅ゾーン

未利用地や空き家・空き地等の利活用に努めます。

商業ゾーン

まちの魅力を高めるため、基盤未整備区域の整備を進めるとともに、整備済み区域については適正な維持管理を図ります。

工業ゾーン

大野神戸ICの整備等による工業地需要については、周辺の自然環境、営農環境に配慮しつつ、必要な用地の確保を図ります。

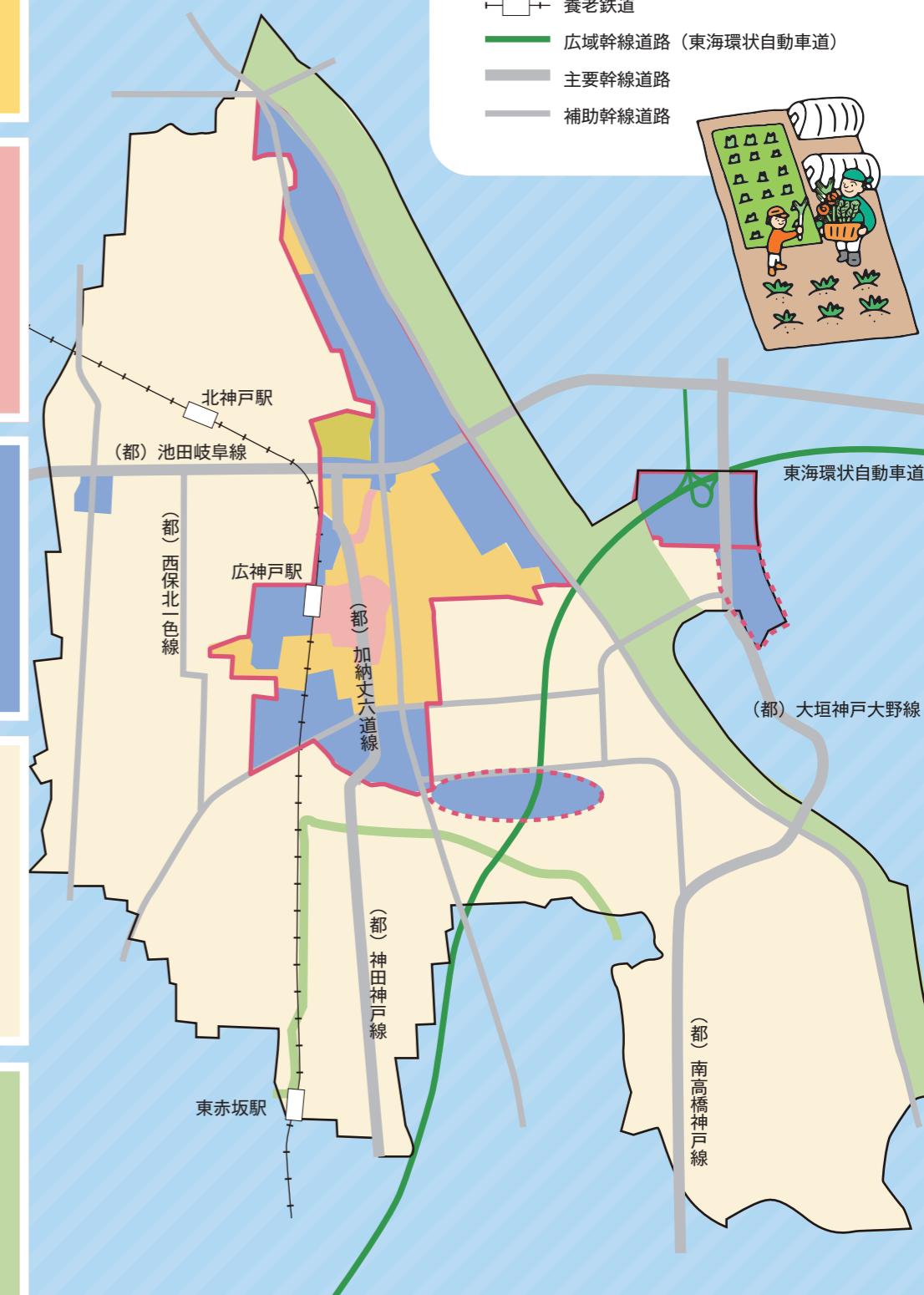
農業集落ゾーン

既存集落の活力の維持のため土地利用制度を見直すとともに、生活道路や上・下水道の計画的な整備、維持管理により良好な生活環境の形成に努めます。

環境保全ゾーン

本町を代表する景観である輪中堤や河川敷については、自然環境と調和したいこいの場としての活用を図ります

- 行政区域
- 市街地ゾーン（市街化区域）
- 市街化検討ゾーン（市街化区域編入検討）
- 住宅ゾーン
- 商業ゾーン
- 工業ゾーン
- 農業集落ゾーン
- 環境保全ゾーン
- 養老鉄道
- 広域幹線道路（東海環状自動車道）
- 主要幹線道路
- 補助幹線道路



将来像

みんなの笑顔 未来へつなごう ともに支えあうまち ごうど

重点施策の方向

1

安心して“子育てしやすい”と 実感できるまちづくり

本町の人口減少の要因として、子どもの出生数の低下による自然減、若い年代の転出による社会減が挙げられます。このため、子どもの医療費や保育料等の経済的支援のほか、母子保健サービスの充実を図るとともに、教育関係では確かな学力の定着と人間性の育成、学校施設の整備等を進め、若者や子育て世代を中心とした移住・定住の促進につなげます。

また、少子化対策を軸として、子育て、教育、都市基盤、産業等の各分野の施策の推進により、若い世代や子育て世代に選ばれるまちを目指します。

重点施策の方向

2

DXの推進による 快適なまちづくり

現代社会において著しくデジタル化が進んでおり、行政サービスや暮らし、産業、教育等のあらゆる分野において、DX(デジタルトランスフォーメーション)が推進されています。本町においても、行政サービスのデジタル化を推進するため、総務課内に「デジタル推進室」を設置し、住民サービスの質や利便性の向上、業務の簡素化に努めており、全ての人がデジタルの力で、利便性の高い暮らしを実感できるまちを目指します。

DX(ディーエックス)

デジタル技術の活用によって、人手のかかっていたサービスの自動化や作業の効率化にとどまらず、デジタル化をきっかけとする社会の大きな変化に対して制度や組織文化の変革を伴いながら新たな価値を創出する改革を指す。

重点施策の方向

3

魅力的で持続可能な まちづくり

脱炭素化による地球環境保全等、SDGsの考え方方が社会に広く浸透しています。このSDGsの理念に基づき、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現し、次世代に引き継いでいかなくてはいけません。

また、行財政運営については、事務事業の結果を精査・検証し、より効果的な手法を採択して実行するマネジメントサイクルにより、将来にわたって市民サービスが充実したものになるよう、健全財政を堅持します。

暮らしやすさを保ち、活気があふれるまちを持続させるため、社会の潮流に応じた各種施策を推進するとともに、人口の維持に資する取組やインフラ整備等、長期的な視点から持続可能性を担保できるようソフト・ハード両面の取組を進めます。

基本目標

1

お互いに助け合う
安心で優しいまちづくり



基本目標

2

住み続けたい
快適で安全なまちづくり



基本目標

3

地域社会を支える人と
文化を育むまちづくり



基本目標

4

魅力ある産業で
活力を生み出す
まちづくり



- 4-1 商工業の振興
- 4-2 農業の振興
- 4-3 観光の振興

基本目標

5

住民と行政が
力を合わせて創る
まちづくり



- 5-1 まちづくりへの住民参画
- 5-2 効率的な行財政運営・DXの推進
- 5-3 広域連携の推進

- 1-1 子ども・子育て環境の充実
- 1-2 高齢者福祉の推進
- 1-3 障がい者（児）福祉の推進
- 1-4 保健・医療活動の充実
- 1-5 地域福祉の推進
- 1-6 防災対策の推進
- 1-7 消防・救急体制の充実

- 2-1 計画的な土地利用・住環境の整備
- 2-2 道路・交通体系の整備
- 2-3 生活安全対策の推進
- 2-4 上下水道の整備
- 2-5 ゼロカーボン（※）・生活環境保全の推進

- 3-1 幼児・学校教育の充実
- 3-2 生涯学習の振興
- 3-3 文化芸術の振興・文化財の保護
- 3-4 生涯スポーツの振興
- 3-5 男女共同参画と多文化共生

※温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすること。
カーボンニュートラルと同義語。

基本目標

1

お互いに助け合う 安心で優しいまちづくり

1-1 子ども・子育て環境の充実

安心して子どもを生み、育てることができるよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに、地域ぐるみの子育て支援活動を促進し、子どもが健やかに育つまちづくりを進めます。



子育て支援センター▲

子育て環境の満足度

86.7 % ▶ 90.0 % ▶ 93.0 %

1-2 高齢者福祉の推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう住民や事業者との連携により高齢者の活躍・交流の場を広げることで社会参画を促し、自分らしく暮らし続けることができるまちづくりを進めます。



チームオレンジごうどう▲

1-3 障がい者（児）福祉の推進

障がいをもつ人が社会に参画できるよう、住民や事業者と連携しつつ自立を基本としたサポート体制を充実し、住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくりを進めます。



もちのき園・たんぽぽ学園▲

障がい者（児）福祉の満足度

89.6 % ▶ 90.0 % ▶ 93.0 %

1-4 保健・医療活動の充実

地域や近隣の医療機関と連携を図り、必要な保健・医療サービスを受けることができる体制とシステムの確立に努めるとともに、住民が心身ともに健康で暮らせるまちづくりを進めます。



乳幼児健診▲

1-5 地域福祉の推進

地域住民と福祉関係団体等のネットワーク化により地域福祉活動の充実を図ることで、地域共生社会の実現に向けたまちづくりを進めます。



福祉委員会▲

ボランティアセンター（社協）登録者数

530 人 ▶ 540 人 ▶ 550 人

1-6 防災対策の推進

大規模かつ広域的な災害の発生に備え、自主防災の意識啓発を図り、住民、事業者、行政の連携により暮らしを守るまちづくりを進めます。



ハザードマップ▲

1-7 消防・救急体制の充実

消防装備や消防水利の配備等の設備の充実と併せ、初期消火や応急措置の知識と技術の普及を進め、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。



消防団連合演習▲

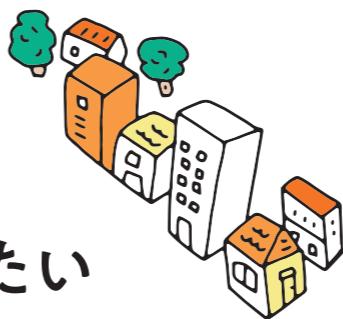
町が開催する普通救命講習会に参加する住民数

31 人 ▶ 70 人 ▶ 100 人

基本目標

2

住み続けたい 快適で安全なまちづくり

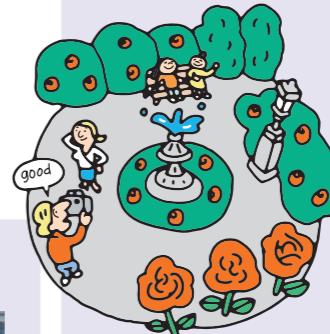


2-1 計画的な土地利用・住環境の整備

東海環状自動車道大野・神戸ICを活かした企業立地、移住・定住の受け皿の整備や既成市街地内の低未利用地の活用等、計画的で秩序ある土地利用を誘導することで住みよいまちづくりを進めます。



子育て世代への支援・助成内容を記載した移住定住促進ポスター▲



公園や緑地の満足度

82.7 % ▶ 84.0 % ▶ 87.0 %

2-2 道路・交通体系の整備

路線相互の機能が十分発揮できるように計画的な道路整備、維持管理に努めるとともに、公共交通の利用促進を図ることで移動しやすく、便利、快適に暮らせるまちづくりを進めます。



養老鉄道▲

道路・交通体系の満足度

75.6 % ▶ 78.0 % ▶ 80.0 %

2-3 生活安全対策の推進

交通安全施設や防犯灯の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、交通安全と防犯の意識を高め、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。



まちかど防犯カメラ▲

交通安全対策の満足度

88.5 % ▶ 90.0 % ▶ 93.0 %

2-4 上下水道の整備

水道施設の計画的な維持管理、更新により安定的な供給と健全な経営を図るとともに、下水道整備の推進、普及啓発による加入促進に努め、上下水道施設を安心して利用できるまちづくりを進めます。



下水道整備計画区域内に住む住民のうち、下水道を利用できる住民の割合

下水道普及率

90.0 % ▶ 100 % ▶ 100 %

2-5 ゼロカーボン・生活環境保全の推進



▲ゼロカーボンシティ宣言

▲電気自動車急速充電器

持続可能な開発目標であるSDGsの理念も踏まえ、着実に脱炭素社会を目指していく事業に取り組むとともに、生活・自然環境の保全を住民とともに進めるまちづくりを進めます。



生活・自然環境の満足度

91.4 % ▶ 92.0 % ▶ 93.0 %

基本目標

3

地域社会を支える人と文化を育むまちづくり

3-1 幼児・学校教育の充実

3-1 幼児・学校教育の充実

幼稚園、小中学校をはじめ、家庭や地域と連携して、未来を担う子どもたちが社会の変化に主体的に対応できる、「生きる力」を身に付けられるまちづくりを進めます。



ICT教育▲

幼児・学校教育の満足度

91.7 % ▶ 93.0 % ▶ 93.5 %

3-2 生涯学習の振興

住民の多様化するニーズに応え、生涯を通じて生きがいを持ち、豊かな生活を送ることができるように、学びの機会や学習の場が充実しているまちづくりを進めます。



町立図書館▲

3-3 文化芸術の振興・文化財の保護

優れた歴史・文化や芸術に接する機会の拡充に努めるとともに、その継承や活用の取組を通じて、郷土の歴史・伝統・文化を愛する心を育み、次代に継承するまちづくりを進めます。



日比野五鳳記念美術館への年間入館者数

1,162 人／年 ▶ 1,200 人／年 ▶ 1,300 人／年

3-4 生涯スポーツの振興

誰もが気軽に楽しめる生涯スポーツの環境・施設の充実により、体力と健康の保持・増進や競技力の向上、スポーツを通じた地域コミュニティづくりを進めます。



神戸町スポーツ少年団▲



こうどローズスタジアム▲

スポーツ施設や活動の満足度

91.8 % ▶ 92.0 % ▶ 92.5 %

3-5 男女共同参画と多文化共生

多文化共生への理解と高揚を図るとともに、個人の尊重と男女平等を基本とした考え方のもと、人権感覚が身に付き、性別等にかかわりなく、互いが尊重されるまちづくりを進めます。



キャリナビ▲

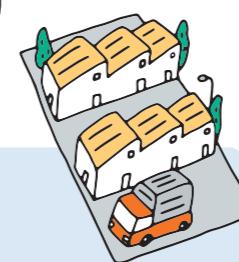
町が設置する審議会等における女性委員の割合

26.5 % ▶ 30.0 % ▶ 35.0 %

基本目標

4

魅力ある産業で活力を生み出すまちづくり



4-1 商工業の振興

商工会等の関係団体と連携して、町の優れた立地環境を活かし、既存企業の成長と新たな企業誘致が促進されるまちづくりを進めます。



大野神戸インター付近の工場誘致▲

神戸町雇用拡大事業奨励金の交付件数（累計）

19 件 ▶ 20 件 ▶ 22 件

4-2 農業の振興

豊かな自然環境を活かし、農産物のブランド化と販路拡大に取り組み、収益が確保されることにより持続可能な農業が営まれるまちづくりを進めます。



特産品▲

農地中間管理機構を通して農地利用集積した面積

286 ha ▶ 400 ha ▶ 550 ha

基本目標

5

住民と行政が力を合わせて創るまちづくり



神Fes!▲

5-1 まちづくりへの住民参画

住民活動団体等への支援を推進することで住民が主役となった地域活動の促進と機会を創出し、住民参画のまちづくりを進めます。



住民ワークショップ▲

まちづくりへの住民参画の満足度

89.1 % ▶ 90.1 % ▶ 94.0 %

5-2 効率的な行財政運営・DXの推進

自主財源の安定的な確保に努め、持続可能な行財政運営を図るとともに、デジタル技術の活用により、利便性と質の高い住民サービスを実感できるまちづくりを進めます。



書かない窓口▲

住民への広報・広聴活動回数 町政報告会・ふれあい講座 職員出前講座等

32 回 ▶ 40 回 ▶ 50 回

5-3 広域連携の推進

行政需要の多様化や政策課題に広域的に対応するため、広域連携のスケールメリットを活かしたまちづくりを進めます。

